

国民の皆様へ（感謝状）

先般の衆院選挙におきましては、国民の皆様の絶大なるご支援をいただき、まことに有難く感謝に堪えません。

郵貯、簡保が民営化されれば、その資金の相当部分が米国債や米国株式市場に流入し、米国経済ひいては世界経済の活性化に役立つことは明らかであります。すでに外資系ファンド等がおこたりなく準備しているところでありまして、巨大資金が宙に浮くという心配はまったく無用であります。僻地の郵便局の整理につきましては、優先課題ではございませんので、若干の猶予期間を置くこととなります。心の準備をされる時間的余裕はあるかと存じます。

このたびは郵政民営化に限らず、改革路線をはじめ内政全般、憲法改正、外交方針、党運営などすべてを信任いただいたものと理解しております。また、それを押し進めるにふさわしい議席を賜りましたことを、厳粛に受け止めております。

改革の天守閣ともいふべき社会保障改革も、より順調に進展することが期待される所であります。さしあたっては今年10月から、介護保険関係の「ホテルコスト」をご負担いただくとともに、今後は軽度の方にはサービスの利用をご遠慮願ひ、自己負担を2割、3割にするなど大幅な改正を予定しているところでありまして、最終的には現在のご負担額の3倍程度となる見込みでございます。「改革の痛み」に何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

経済大国日本には、もはや弱者などは存在しません。医療保険制度におきましては、高齢者にも適切な負担をお願いする予定であります。すなわち自己負担と保険料の引き上げであります。なお「適切」とは何かが議論の対象になることもあります。適切とは適切でありまして、政府を信任された以上は政府の判断をもって「適切」とご理解いただきたいと存じます。

高齢者にかぎらず、医療全般にわたって給付の見直しを行い、患者様の経済力に応じた医療を受けることができるというメリハリのある制度にしていく所存であります。高所得者が報われる仕組みにしないと社会の活力が損なわれるのであります。経済格差の増大を危険視する向きのあることは重々承知しておりますが、なによりも経済活性化が第一でありまして、たとえ方にひとつの可能性もなくとも「勝者」になる夢をもっていたことが活性化の第一歩であります。

ともかくにも改革を強力に押し進める舞台が用意されました。同志・小泉君に成り代わりまして、国民の皆様にご感謝の意を表する次第であります。

平成17年9月 吉田

宗教法人市場原理教附属門前病院 大泉鈍一郎 拝